



平成 28 年 1 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマダ・エスバイエルホーム
代表者名 代表取締役社長 長 野 純 一
(コード番号 1919 東証第 1 部)
問 合 せ 先 執行役員管理本部副本部長 角 田 仁
(T E L. 06-6242-0555)
当 社 の 親 会 社 名 株式会社ヤマダ電機
代表者名 代表取締役社長 山 田 昇
(コード番号 9831 東証第 1 部)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 4 月 14 日に公表しました平成 28 年 2 月期通期の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成28年2月期通期 連結業績予想の修正 (平成27年3月1日～平成28年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	51,240	250	200	100	0.49
今回修正予想 (B)	47,500	300	250	150	0.74
増減額 (B - A)	△3,740	50	50	50	—
増減率 (%)	△7.3	20.0	25.0	50.0	—
(ご参考)前期通期実績 (平成27年2月期)	51,650	△1,275	△1,369	△5,697	△27.94

(2) 平成28年2月期通期 個別業績予想の修正 (平成27年3月1日～平成28年2月29日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	48,700	30	10	0.05
今回修正予想 (B)	45,000	100	50	0.24
増減額 (B - A)	△3,700	70	40	—
増減率 (%)	△7.6	233.3	400.0	—
(ご参考)前期通期実績 (平成27年2月期)	49,275	△1,607	△5,508	△27.01

2. 修正理由

当第3四半期累計期間につきましては、平成27年1月13日に公表いたしました経営構造改革「Reborn SXL Plan」を基軸に各種業務の改善・施策の実行に継続して取り組んでまいりました。

その結果、当社単体における住宅事業の受注実績としては賃貸マンションや医療・介護施設などの大型物件の受注もあり、前年同期比約113%となる一方で、リフォーム事業においては、オーナー様向けの太陽光発電設備等のスマート商品のご案内が一巡したことの影響が想定以上となり、前年同期比約88%の受注実績となりました。

売上高においては、リフォーム事業における受注が予想よりも低調に推移していることが影響し、当初予想を下回る水準となる見込みです。

しかしながら、利益面においては、設計業務改革をはじめとする原価低減、社員研修の実施等による業務効率の改善や経費削減活動に想定以上の効果が見込まれることから、各利益については当初予想を上回る見込みとなります。

以上のような状況を鑑み、連結業績予想並びに個別業績予想について、前回予想を修正いたします。

※ 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上